

製本数量情報の自動収集機能を付加し、 オフィスでのリアルタイム監視及び管理を図った。

B社様では、これまで生産数量の自動収集機能が無かった為、生産情報収集は現場へ其の生産数を担当者が其の都度確認に行くことを行なっていた。取引先からの緊急な納入スケジュールの確認要望に対しては、現在の生産数量の確認に担当者が工場へ行き確認後、数量の計算を行い取引先に連絡をするまでにかなりの時間が必要であったが、オフィス内でのリアルタイム監視が可能になった為、取引先からの緊急確認に対しても即時に解答が出来る事で、担当者の無駄を排除可能にした。
又、生産数量の記録はデータベースに収集されている為、今後これらのデータを利用した新しい生産管理システムを導入する事を検討中である。

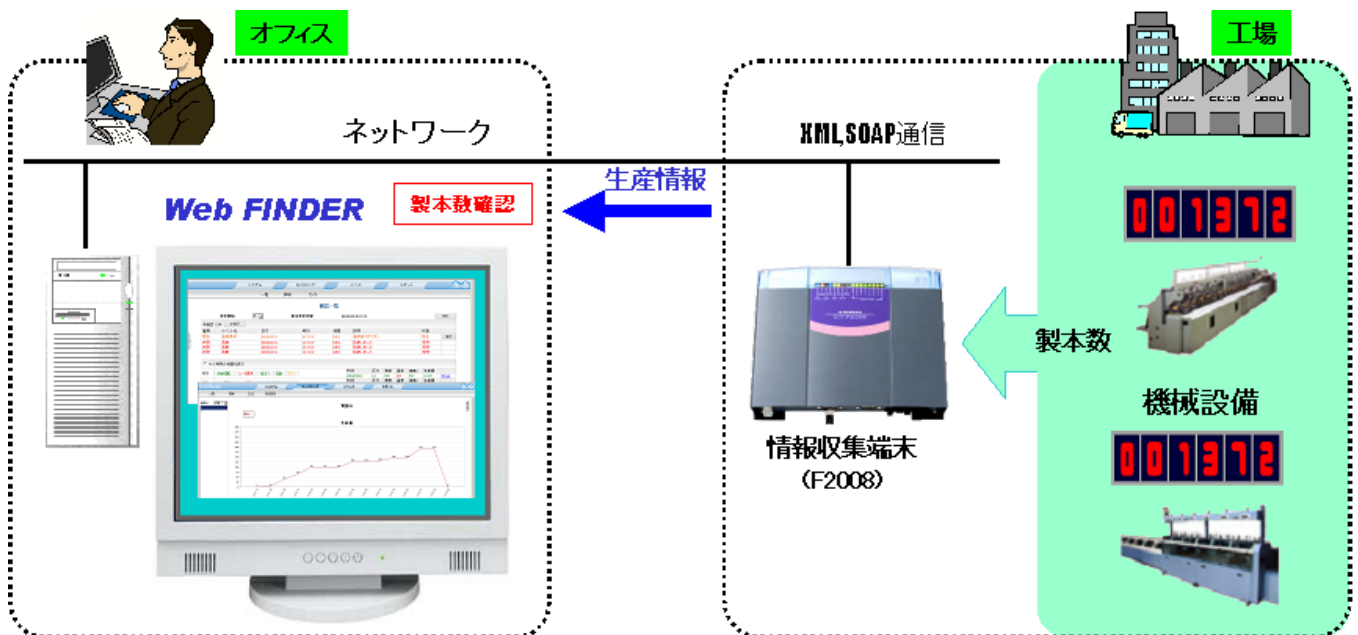


<工場長様より>

これまでの体制ではリアルタイムにデータの収集が出来なかった為、無駄な時間を非常に多く使っていたが、今回の導入により担当者の無駄な時間が大きく削減された。今後は、収集したデータを使用した生産管理システムの導入を早く行ないたい。

システム概要

システムでは、生産情報（製本数）を自動的に収集し業務の効率化を図っています。



① 日報の管理

- 装置別に生産数をサーバでリアルタイム管理
- 生産数量と情報のデータベース化